



杉本 健三 議員

PM2.5は大丈夫？

【問】PM2.5による大気汚染が心配だ。

【答】市内のPM2.5の測定については、花岡駐車場三階に県が設置しており、昨年4月から1日に24回、1時間ごとに測定が行われ、測定結果は県のホームページで公表されており、市ホームページからも閲覧できる。今までに異常はなかった。

景気回復の為の緊急経済対策

【問】国では10兆円を超える緊急経済対策を含む補正予算が成立した。これを受けて高山市はどう対応するのか。

【答】高山市では細かな地域にねざした公共事業に絞り、積極的な経済対策中心の予算を組

んでいきたい。

通学路の除雪

【問】スクールサポートターとして児童の登校する姿を見守っていただいている方がいる。また歩道でない通学路を除雪機を使って除雪をしていただいている方もみえるが、せめて燃料費程度でも支援できないか。市長の考えは。

【答】子供達が安全に通学できる為に携わっておられる各種ボランティアの皆様には、心より感謝を申し上げます。雪またじの基本方針は市と市民の皆様が共に協力して行う事である。燃料の補助は今のところ難しいがボランティアには感謝している。



清見中学校

小中学校の耐震化

【問】小中学校の耐震化率はどうかの。

【答】小中学校の耐震化率は3月で100%になる。その他の公共施設は92%である。

公共事業は地元企業に

【問】建設の公共事業は赤字にならないように地元企業に発注を。

【答】地元企業に可能な限り発注したい。工事予定価格は国、県の積算基準を基に見積りを取るなど適正にしている。



岩垣 和彦 議員

「のらマイカー」の将来性と効果的な運用！

戦略的な公共交通体系を考えているのか

【問】連携計画において平成25年度から本格運行を始めるが、2年間の実証運行の総括と今後のあり方は。

【答】再編により幹線バス、のらマイカー、まちなみバスの役割分担による交通ネットワークの構築が出来た。支所地域の運行体系や運賃の統一が図られ仕組みも固まってきた。しかし、今後のニーズに柔軟に臨む必要があると考える。課題は2億円ほどの支出となるため効率的な運用・運行を含めて軽微な予算にする必要があり、乗車人数の増加への努力も必要である。

【問】タクシー車両によ

るデマンド輸送を一部地域で実施するが、利用者は予約の手間、運行事業者は予約がなくても次の運行に備え待機を余儀なくされ、その人件費など委託料軽減に繋がらないが、メリットはあるのか。

【答】一之宮・朝日地域で実施するが、この地区は利用者が少ないため、意見交換会を実施し予約の手間にも理解された。実際の運行の中で予約の手間の問題も課題と認識しており、今後制度を浸透させることが重要と考えている。

【問】複数の事業者で公共交通を担うことになり、市として安全管理の統一と幹線バスとの連携についてどう調整するのか。

【答】相互の事業者に協力をお願いしながら、連絡体制を整え、利用者に迷惑がかららないよう取り組む。また、安全確保は何より優先する課題であり、統一的な安全管理について内容を協議している。

【問】高齢者の死亡事故抑制や公共交通利用促進を図るため運転免許証の自主返納制度の促進と併せて、市として運転免許証自主返納者に対しバス・タクシー運賃の割引を支援する考えはないか。

【答】交通安全の見地や自主返納者の増加で利用者増に繋がると考えるが、まちなみバスやのらマイカーの乗車運賃は100円の低料金であるため、自主返納者への支援は検討していない。

